

東証プライム 4229

群栄化学工業株式会社

2026/2/16 個人投資家様向け 会社説明会資料

化学のココロ。

GCI

GUN EI Chemical Industry



□ 群馬から世界へ、「化学品」×「食品」ハイブリッド企業

群馬県高崎市に本社を構え、グローバルに事業を展開する、化学品と食品のハイブリッド企業

□ 半導体・AI市場を支える電子材料分野に積極投資

高品質・低メタルなフォトレジスト用樹脂をベースに、約45億円の新工場建設など、

成長分野への重点投資を加速

□ 持続可能な未来を創る「Green Chemical Industry (GCI)」

2030年に向け電子材料分野に次ぐ第二の柱としてGreen分野を拡大し、更なる成長へ

- P 4 : 会社概要・事業内容
- P 1 4 : 注力分野
- P 2 1 : 成長戦略
- P 2 5 : 業績・株主還元

会社概要・事業内容

- 社名 : 群栄化学工業株式会社
Gunei Chemical Industry Co., Ltd. (GCI)
- 本社所在地 : 群馬県高崎市宿大類町700番地
- 設立 : 1946年1月23日 (創業 **80** 年)
- 上場区分 : 東京証券取引所 プライム市場
- 資本金 : 50億円
- 従業員数 : 548人
- 国内拠点 : 群馬、東京、大阪、滋賀、岩手
- 海外拠点 : タイ、インド、アメリカ、ドイツ



<https://www.gunei-chemical.co.jp/80th/>



代表取締役 社長執行役員
有田 喜一郎

群栄化学 は、身近にある様々な産業分野に
化学品・食品の「機能性材料」を提供する

『素材メーカー』です

化学品

食品



フェノール樹脂 他



フェノール樹脂繊維
(カイノール)



でんぷん糖類
(異性化等・水あめ)

「フェノール樹脂」とは？



世界初の人工合成樹脂

日常から電材・宇宙まで支える万能素材

● 特徴

熱に強い、燃えにくい

電気を通さない、接着力が強い

「異性化糖」とは？



でんぷんを酵素分解した液状の糖

食を支える素材

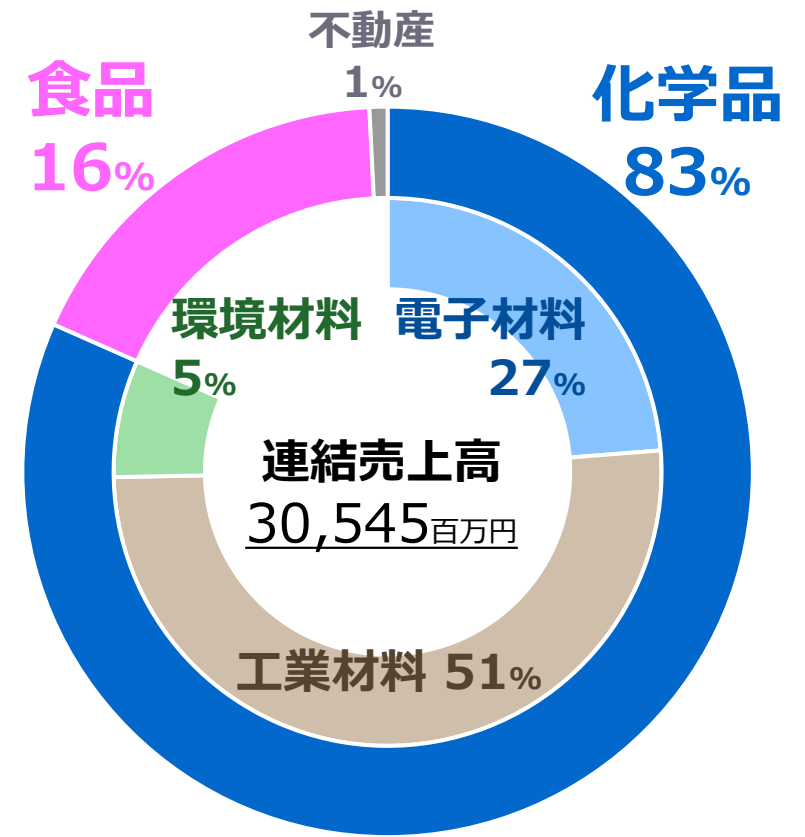
● 特徴

砂糖と同等の甘味

冷やすと甘みが増す、スッキリした味

群栄化学の製品は、縁の下の力持ちとして皆さまの身近で活躍しています

弊社製品の主な用途



2025年3月期

B to B で培った技術を B to C に展開



いちりゅうまんえいあめ オリゴ飴（製品名：一粒万栄飴）

当社のでんぷん糖類であるオリゴ糖を主原料とした和風飴
甘すぎず、素材の味を活かした設計

シャンプー&トリートメント（製品名：Tezmi）

東日本第1位の梅の生産地、高崎市と共同開発
地元名産「白加賀梅」抽出エキスを配合
地元の素材を当社の技術で製品化



高崎駅 群馬いろは、各種インターネットサイト等で販売中

社是

節約・勤勉・合理主義

無駄を省き、理にかなった行動で、仕事をやりぬく

理念

化学の知識とアイデアでソリューションを提供し、
より豊かな未来社会創りに貢献する

1946年
群馬栄養薬品株式会社 設立



1953年
群栄化学工業株式会社
へ商号変更

1974年
東証第二部上場

1990年
Thai GCI Resitop
Company Limited 設立

1979年
東証第一部上場

2014年
東北ユーロイド工業株式会社 取得

2012年
India GCI Resitop
Private Limited 設立

2018年
American GCI Resitop, INC. 設立

2022年
プライム市場移行
売上高300億円到達



1946年～
ぶどう糖 生産開始

1951年～
工業用フェノール樹脂 生産開始

1960年代
鋳物用・塗料用樹脂などの販売で
自動車産業と共に業績拡大

1980年～
フォトレジスト用樹脂 生産開始

1982年～
フェノール樹脂繊維「カイノール」生産開始

1990年～
タイGCI設立 グローバル展開開始

2010年～
電子材料分野を中心とした業績拡大

2018年～
摩擦材用樹脂「ミレックス」事業買収
アメリカンGCI設立 北米市場の拡大

2022年～
プライム市場移行
売上高300億円到達

国内複数拠点の連携により、高品質な製品を安定供給

群馬県高崎市

本社・技術開発センター
群馬工場
(化学品・食品製造)
高崎支店



グループ会社
株式会社ビッグトレーディング
(派遣・業務請負)

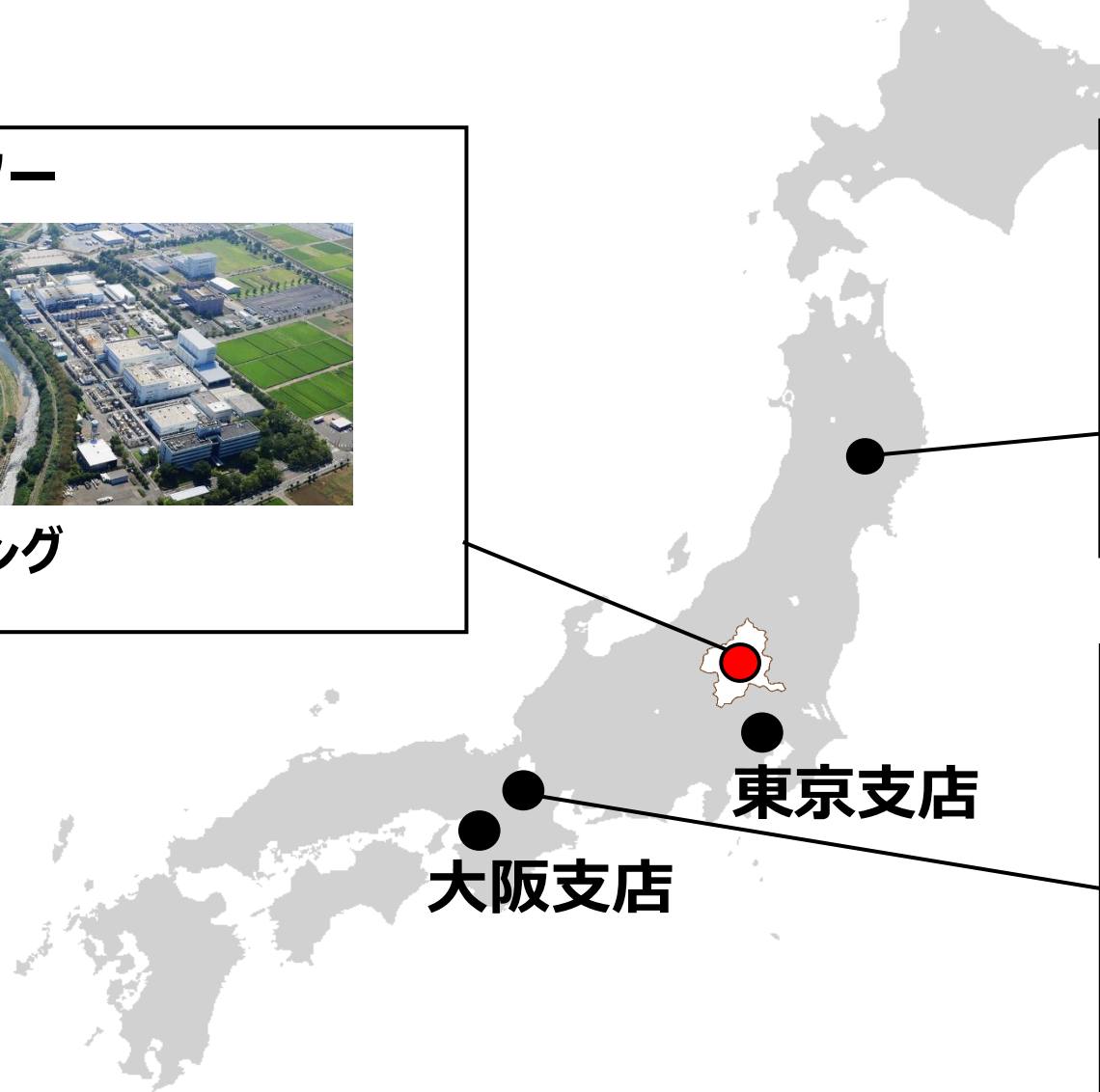
岩手県北上市

グループ会社
東北ユーロイド工業株式会社
(化学品製造・受託製造)



滋賀県湖南市

滋賀工場
(化学品製造)



東京支店

大阪支店

グローバルに高品質な製品を提案・供給



KYNOL EUROPA GmbH

● (ドイツ・ハンブルク市)



American GCI Resitop, Inc.
(アメリカ・イリノイ州)



India GCI
Resitop Private Limited
(インド・タミルナードゥ州)



Thai GCI
Resitop Company Limited
(タイ・ラヨーン県)



注力分野

- ・電子材料
- ・環境材料
- ・海外展開

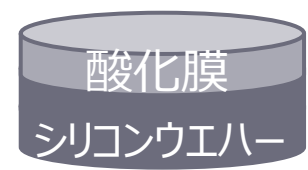
「フォトレジスト」とは？ 半導体製造（微細回路形成）に必要な薬剤

シェア No.1
g/i線向け
当社製品
有機溶剤 感光樹脂
フォトレジスト

半導体の用途例



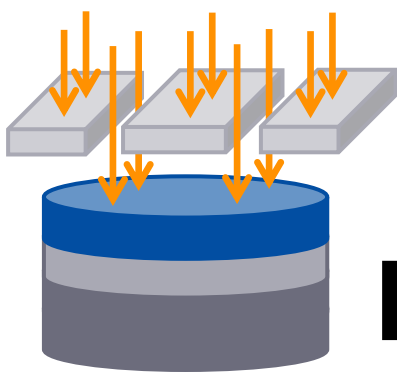
半導体製造工程（前工程）



酸化膜形成



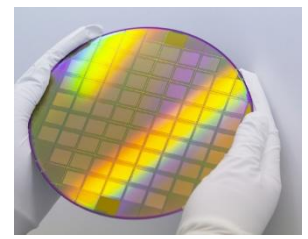
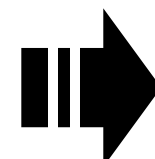
フォトレジスト塗布



露光

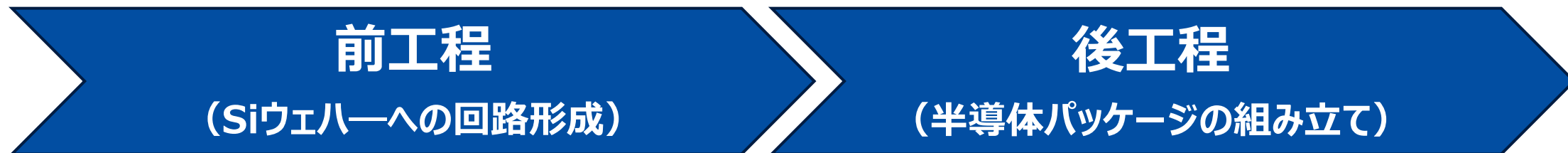


現像/エッチング



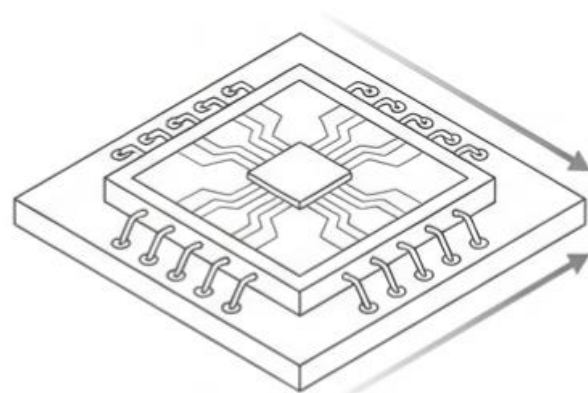
回路形成

安定成長の「前工程」 / 「後工程」の領域拡大で持続的成長を実現



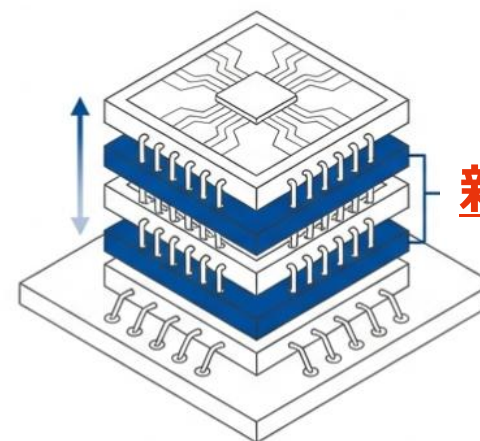
成長牽引領域

- ・フォトリソ用樹脂
- ・先端半導体周辺材料
など



平面微細化 (2D)

微細化技術の「深化」



積層化/チップレット (3D)

新領域の「拡大」

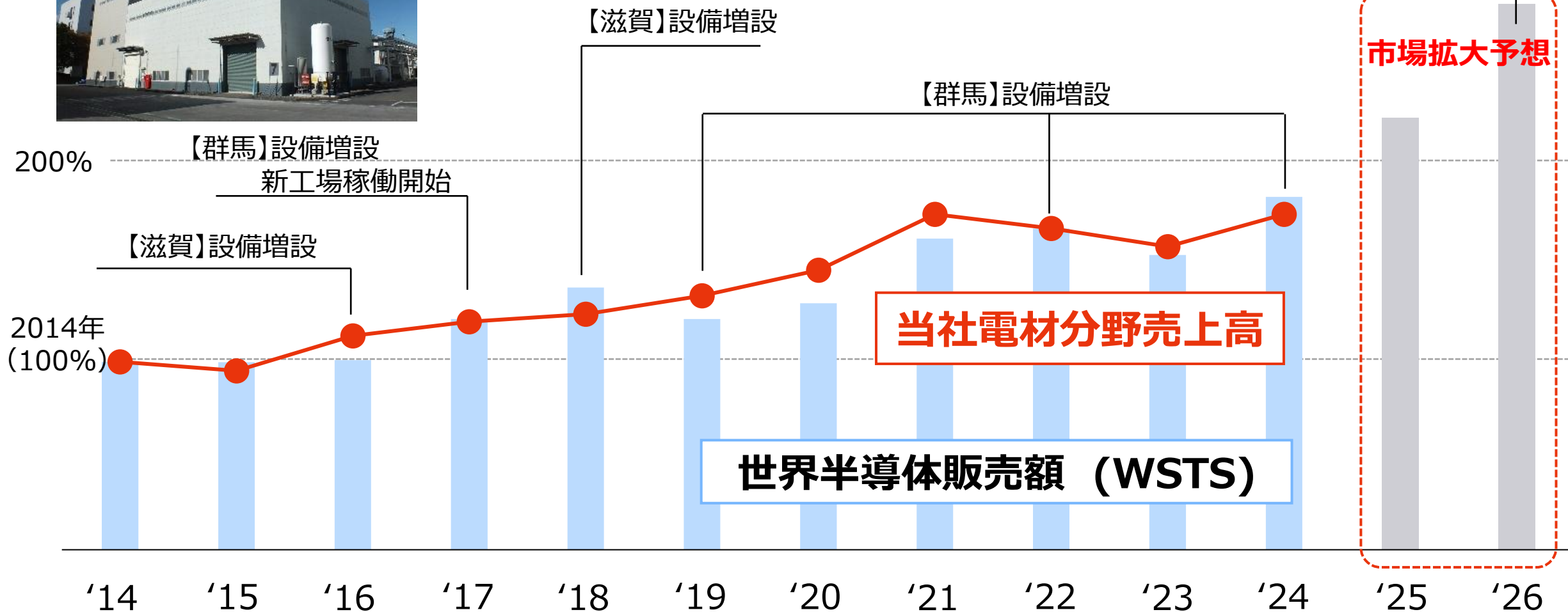
新たなターゲット領域

- ・感光性絶縁膜用樹脂
- ・低誘電材料 など

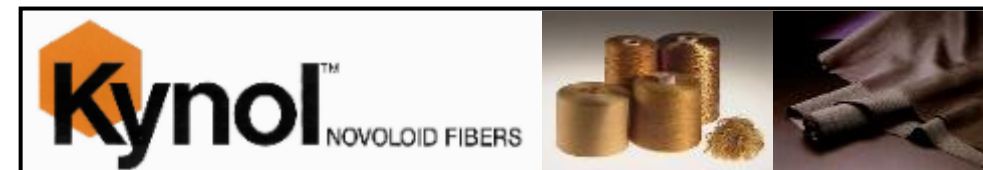
積極投資・研究開発を継続し、市場成長とともに拡大

【群馬】
新工場稼働予定

投資額約 **45億円**



カインール 世界で**唯一**当社が製造する高機能繊維



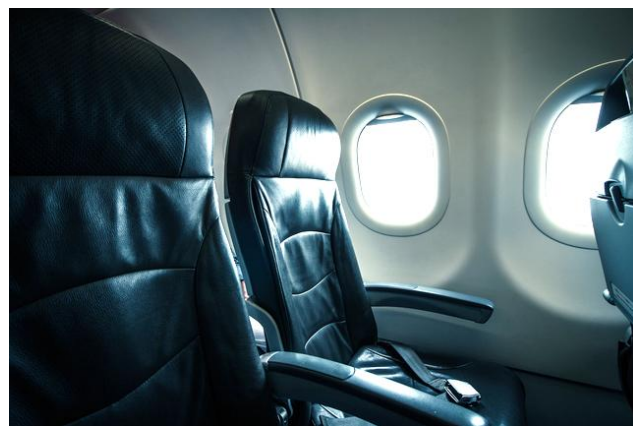
特徴

高い難燃性、断熱性

特定溶剤の優れた吸脱着性能（活性炭）



防護服



航空機座席

用途

防護服、航空機座席の防火シート

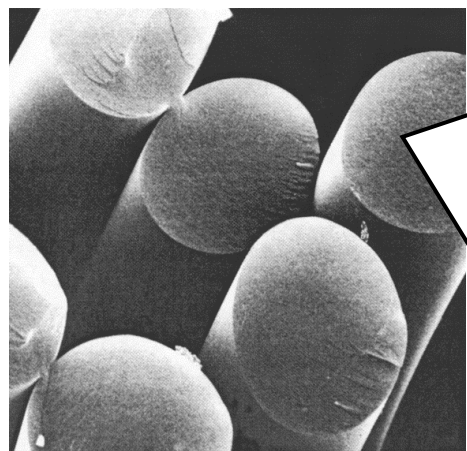
溶剤回収装置（活性炭）



活性炭用途

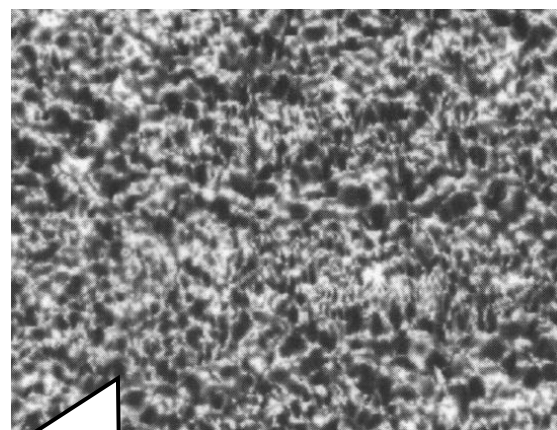
需要増を見込み
生産能力アップ
'25年度
増設ライン稼働開始
投資額約 **16** 億円

カイノール活性炭繊維の表面



カイノール活性炭繊維

拡大図



イメージ

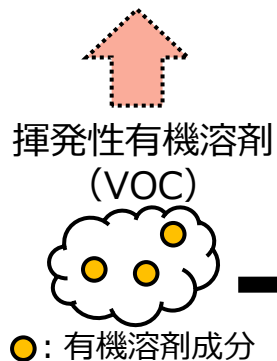
細孔



活性炭繊維

溶剤回収の仕組み

大気放出
(環境汚染)

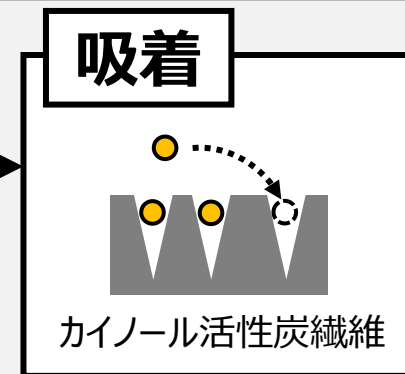


大気放出
(無害)

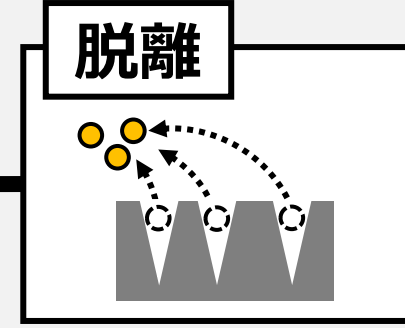


溶剤回収装置

吸着



脱離



リサイクル使用

環境負荷低減に貢献

高成長市場インドにおける製造拠点拡大



【事業内容】 RCS（レジンコーテッドサンド）の製造・販売

India GCI 製品



RCS

型内で加熱



砂型

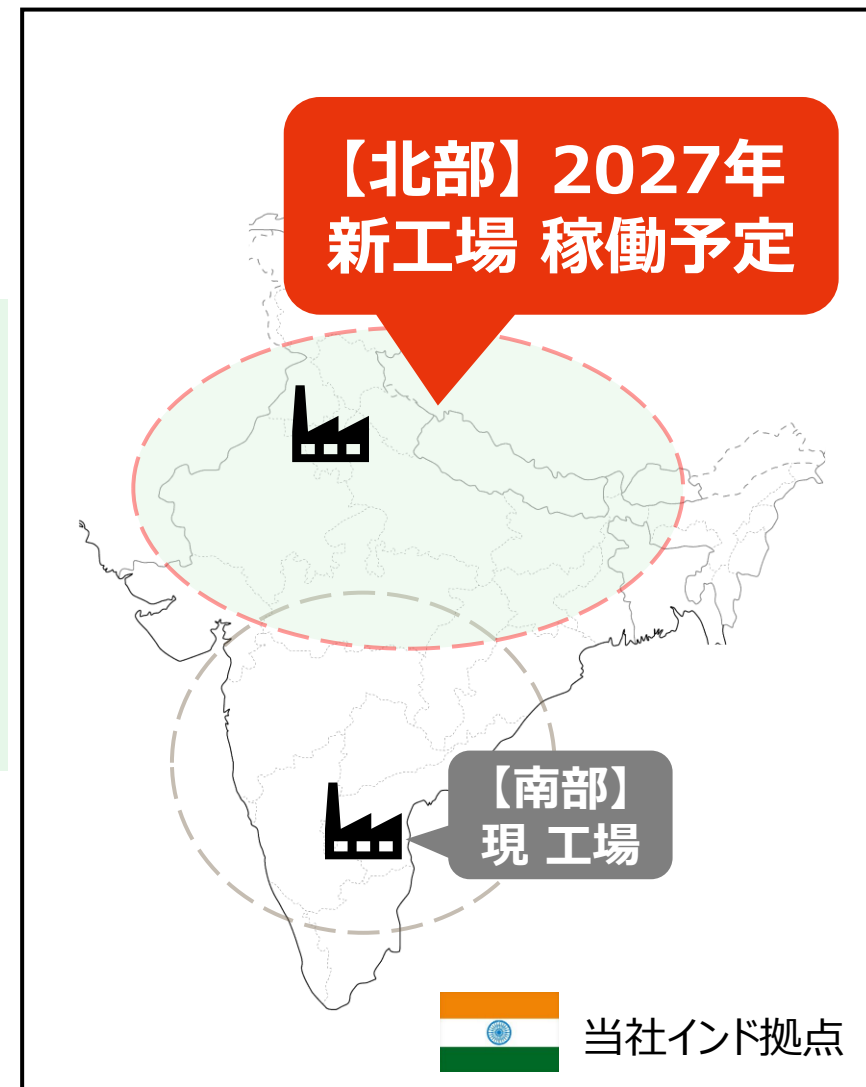
鋳造

車・バイクのエンジン
工作機械の部品
etc.

・ 2012年 インディアGCI設立（南部/タミルナドゥ州）

・ 2023年 工場移転 及び 設備増設（同州）

・ 2027年 **新工場 稼働予定（北部/ラジャスタン州）** → 投資予定額 約 **15** 億円



南北2拠点体制とし、高品質RCSの安定供給強化へ

成長戦略

外部環境	当社の課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地政学的リスクの高まり ・世界的な物価上昇 ・高齢化/人口減少/汎用工業材料分野縮小（国内） ・AIを中心とした半導体分野の拡大 ・環境負荷低減への対応強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子材料分野の新規用途開発、高品質化 ・環境負荷低減製品の開発強化 ・縮小が進む工業材料分野への対応 ・サステナビリティを巡る課題への対応



『 GCIグループ中期経営方針2030 』

ありたい姿

化学の力でグローバルにソリューションを提供し、社会の持続的成長に貢献する“Green Chemical Industry(GCI)”となる

基本方針

- ◆事業ポートフォリオの再構築
- ◆生産性向上、収益力強化
- ◆マーケティングによる事業領域の拡大
- ◆持続的成長を支える人材の育成、エンゲージメント向上

4つの目指す方向性

高純度・先端材料

環境対応ケミカル

新事業創出

経営基盤強化

電子材料

主軸事業（第1の柱）

高純度・
先端材料



パワー・先端半導体
EV・FCV

Green分野

Greenを中心とした次なる新事業（第2の柱）

サーキュラーエコノミー

環境対応
ケミカル

新事業
創出



溶剤回収装置
水処理

サステナブル製品



バイオマス原料
環境負荷低減製品

エネルギー・CO2削減



プロセス改善
省人・デジタル化

リソースの最大活用

経営基盤
強化

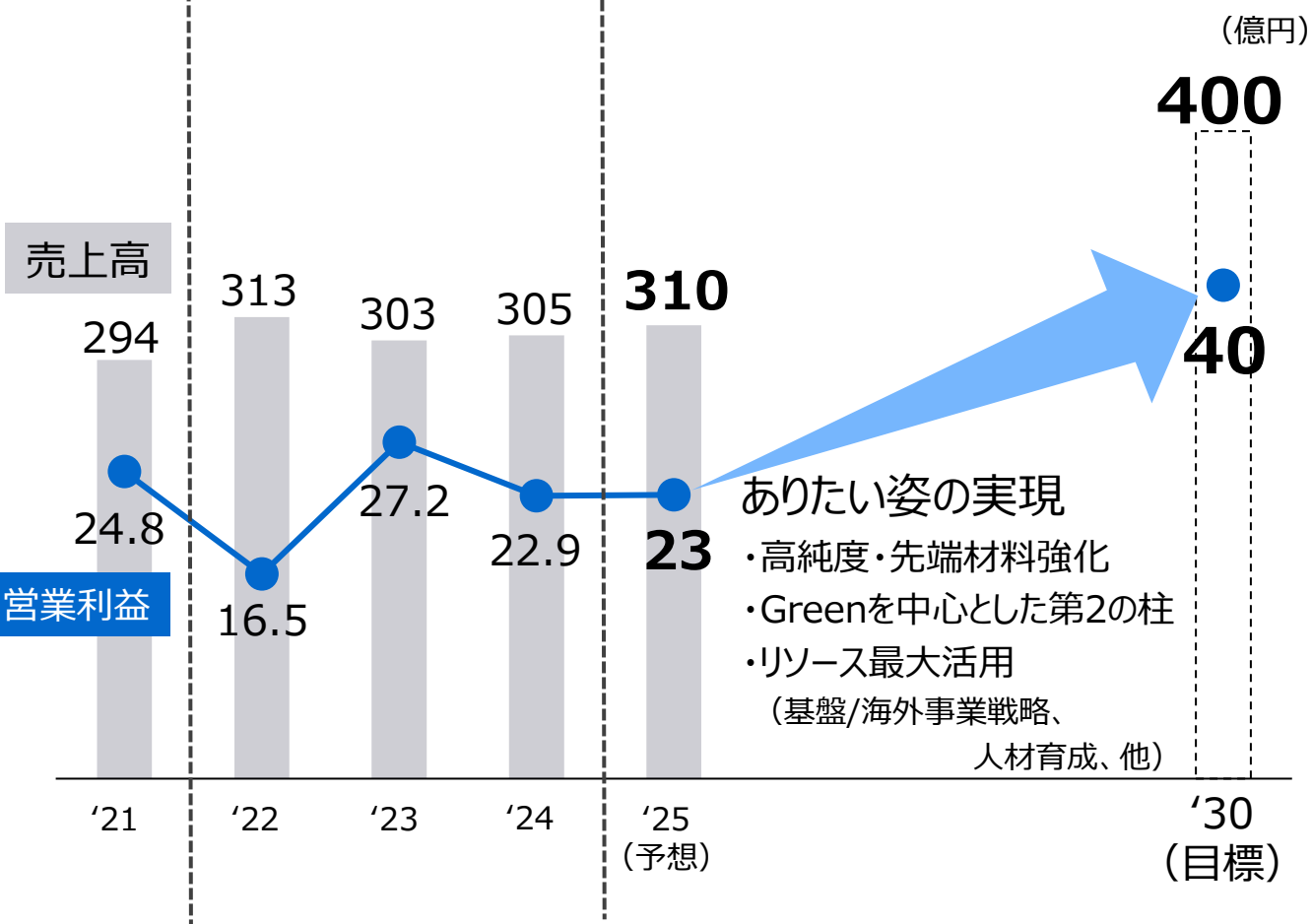
持続的な成長・企業価値向上

経営基盤強化によりグループ全体を支える
(人材育成、不採算事業への対応、CO2削減、グループ強化)

GCIグループ中期経営方針

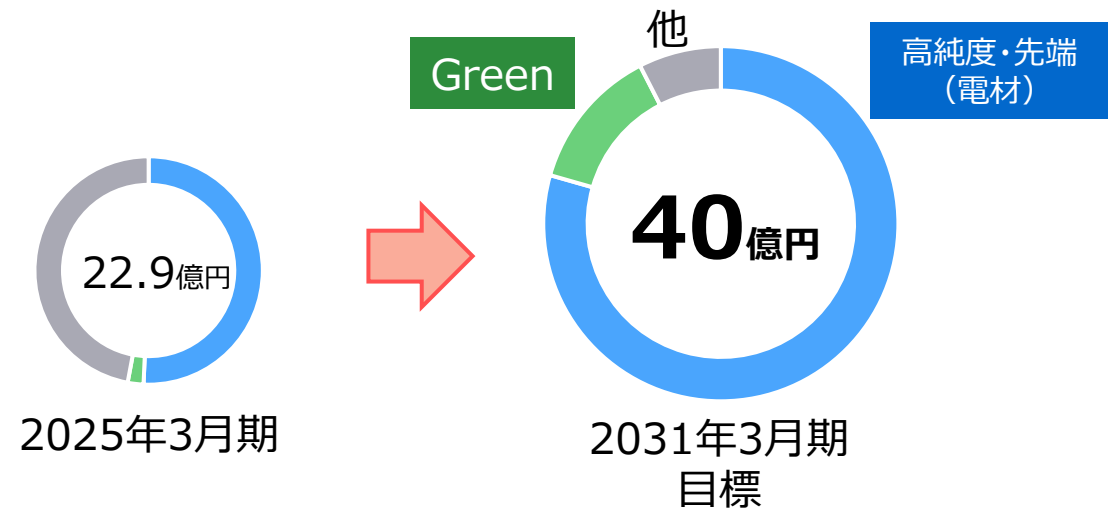
2024

2030



ありたい姿の実現
 ・高純度・先端材料強化
 ・Greenを中心とした第2の柱
 ・リソース最大活用
 (基盤/海外事業戦略、人材育成、他)

	2025年3月期 実績	2031年3月期 目標
売上高	305億円	400 億円
営業利益	22.9億円	40 億円
営業利益率	7.5%	10%
ROE	3.9%	6%
CO ₂ 排出量削減 Scope 1・2 (2014年3月期比)	-	46%



利益構造イメージ

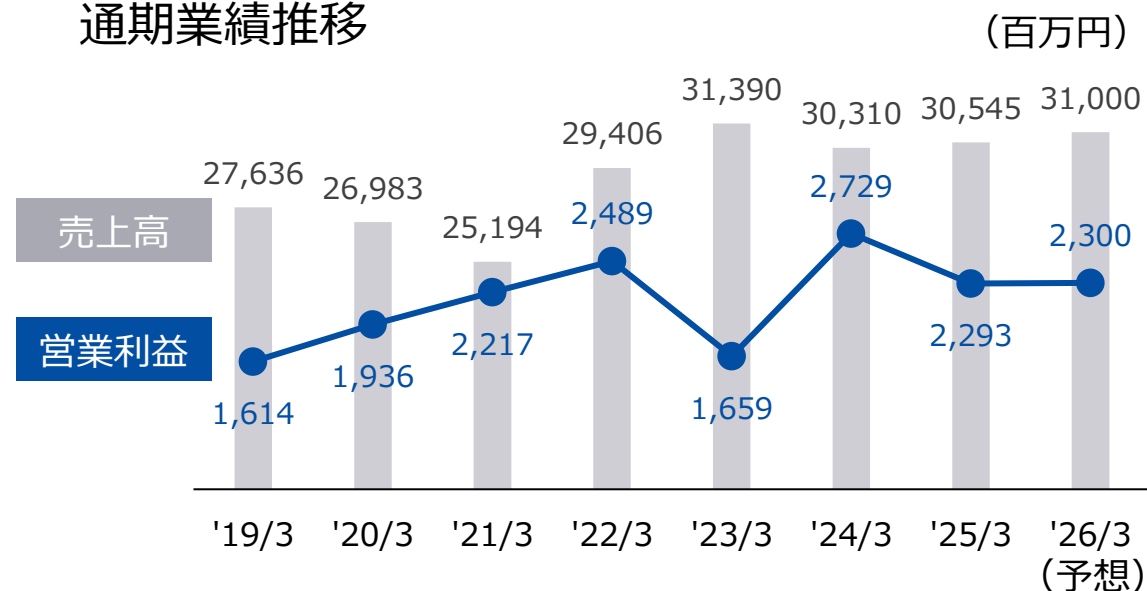
業績・株主還元

今期業績（3Q時点）

- 半導体関連の販売増加、生産効率化等のコストダウンにより、前期比増収・増益

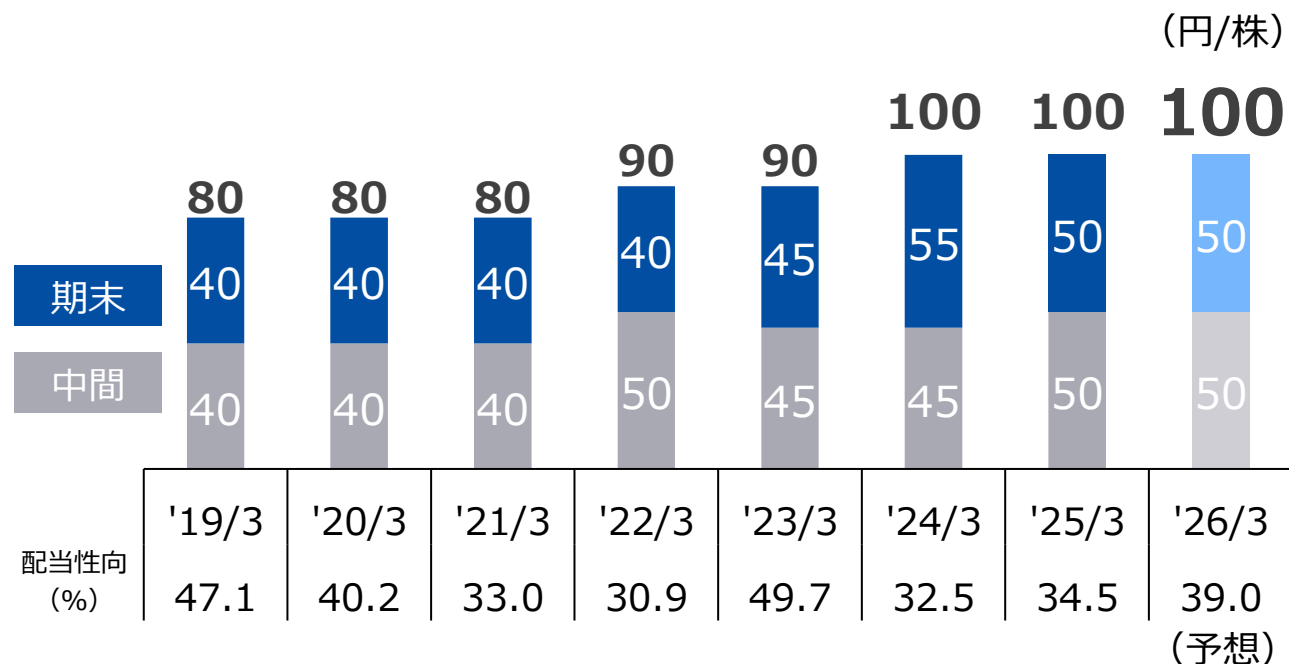
	前期3Q	当期3Q	増減率
売上高	22,702	23,521	+3.6%
営業利益	1,694	2,227	+31.4%

通期業績推移



株主還元

- 配当方針
配当性向40%を目安とした、安定的な配当を目指す
- 配当予想
2026年3月期：100円/株



〈見通しに関する注意事項〉

本資料の業績予想・見通しは資料作成時点において
入手可能な情報に基づいて判断したものであり、
将来の計画数値、施策の実現を保証するものではありません

問合せ先：コーポレート本部 IR担当

TEL: 027-353-1818 (代表)